

議会だより

一般質問

6月22日に開会された第2回定例会では、2名の議員から3件の一般質問がありました。



木村議員

ひまわりの里の運営と今後の在り方について

木村議員

ひまわりの里の運営、年間の経費、委託先について説明願いたい。

佐野町長

施設管理は、ひまわりの里1,809万円、ノンノの森416.2万円、観光センターは通年管理として634.5万円、桜並木78万円でNPOひまわりに指定管理委託している。

木村議員

ひまわりの里の運営は、今後観光客から入場料等を徴収することが検討されると思うが、ひまわりの迷路とひまわり遊覧車などの見直しは検討するのか、又、展望台と「世

世界のひまわり」の看板に世界平和を祈る鐘の設置等、観光客の心に残るようにするのはどうか。

佐野町長

施設の維持管理費用等の歳入を入場料等で賄う事については、本格的な導入に向けた協議が必要な状況にあると考えており、迷路や遊覧車等イベントに関わる内容は実施団体と検討していく。

木村議員

展望台は、今年も仮設展望台を設置し、今後も町民の意見を十分に検討していく、又、世界平和を祈る鐘については、設置を懸念する声もあり慎重に検討していく。

木村議員

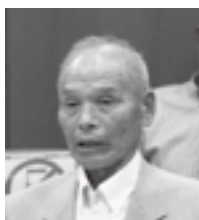
ひまわりの里の渋滞対策として、駐車場は北竜町宮球場のサブグラウンドへの駐車、観光センターへと繋がる道路の拡幅が必要と考える。又、ノンノの森の通路、排水対策等年次計画を立てて実施すべきと考えるがいかがか。

木村議員

ひまわりの里の渋滞対策として、駐車場のサブグラウンドへの駐車、観光センターへと繋がる道路の拡幅が必要と考える。又、ノンノの森の通路、排水対策等年次計画を立てて実施すべきと考えるがいかがか。

佐野町長

渋滞対策については今ある駐車場を最大限活用するようコンサル事業として専門的な



木村議員

空き家・空き地の有効活用と移住・定住の促進について

木村議員

空き家・空き地の所有者の意向確認が出来ているのか。所有者に取り壊しの意向がある場合、一定条件を付け、費用を助成する事も必要と思うがいかがか。

良質な物件については、交流人口の増加を促すため移住・定住に向けて有効活用す

視点、ハード整備についてはその後の検討としたいと考えている。

ノンノの森については、本年度予算にて側溝側のゴムタイルのめくれ上がり修理する予定であるが、排水対策については、今後の全体計画の中で検討していくので、ご理解願いたい。

木村議員

今後の継続審議としてよろしく願いたい。

ることが必要と思うが考えを伺いたい。

佐野町長

各町内会長に協力頂き毎年空き家台帳を更新しているが、空き地については把握が出来ていない。空き家所有者の意向確認は確認をしているが、出来ていない方が多い。雪害等による倒壊被害を未

然に防ぐために、空き家を取り壊す事については、国の空き家対策総合支援事業補助金（国の補助が2/5）を活用し令和6年度から実施予定であり、加えて補助の対象となる要件、町費の上乗せ補助を検討中である。

空き家を移住・定住政策に活用することについては、良質な物件は町が把握する前に



中村議員

観光資源の活用について

町内には「イチイの森」「眺望の丘」などの施設があるが、今後どのような活用を考えているか伺いたい。

佐野町長

当初、「イチイの森」は、ウォーキングコースとしていたが最近ではあまり利用がない。又、「眺望の丘」は、訪れる方は少なくないが、ベンチなどの老朽化等により撤去し

個人間等で売買の契約が終了している事が多く、町に相談にくる多くは改修に相当な費用がかかる物件が多く、移住・定住に対して十分な活用が出ていないのが現状である。今後は、広報誌等を活用した空き家バンクの周知や情報収集に努め、有効活用を図れるよう努めていきたいと思うのでご理解願いたい。

ているのが現状。安心して利用頂ける整備等を検討し、今後の有効な活用を行って参りたい。

中村議員

「眺望の丘」について、展望台又はベンチ並びに屋根付きの休憩所の設置をお願いしたい。

又、ひまわりの里の開催期間中に間に合わなかった観光客の満足度向上のために、9

月のシルバークロウに咲くように「ひまわり」を植えるのはどうか。

佐野町長

「眺望の丘」の風景は日中だけでなく、夜間に見える星空の雄大さも観光客にアピールし、夜の「眺望の丘」も体験してほしい。老朽化等により撤去しているベンチの修理を含め、簡易的な休憩所の設置も検討したい。

ひまわりについて来年度以降に生育可能かどうか含め調査検討していきたい。

中村議員

北竜温泉の宿泊客等を対象に「眺望の丘」や温泉施設内で撮影した写真や動画をSNSに投稿した方に温泉施設内で使えるクーポン券をプレゼントする等、連携事業によって温泉施設内の売上向上に繋がると思う。

「イチイの森」には『どろ亀先生』の歌碑や町木であるイチイの木が寄贈されているほか、町内の俳句の会会員の方の句碑が建立されているが、インターネットで『ひまわり選』として俳句を募集し、優勝者には「イチイの森」内に句碑を建てるなどの施策を考えてみてはどうか。

又、町内観光施設のスタンプラリーに「イチイの森」を訪れることに加え、温泉、ひまわりの里、眺望の丘と一体化もたせることが町内観光資源の有効活用につながると思うので検討して頂きたい。

佐野町長

様々な提言を頂いたが、中でも「イチイの森」の俳句の募集や句碑については、教育委員会と検討をしていきたい。

研修会

北海道町村議会議員研修会

7月4日に令和5年度北海道町村議会議員研修会が札幌コンベンションセンターにおいて開催された。

初めに渡部孝樹北海道町村議会々長から開会の挨拶があり、第一部はひょうご震災記念21世紀研究機構理事長の五百旗頭真氏から「ウクライナ危機後の世界と日本」と題して講演を頂いた。

氏からは、元防衛大学校長を歴任された経験から主に日本の外交と安全保障についての見解が語られ、興味深く伺った。

平和憲法下の日本の立場において国際的役割をどう果たしてゆくのか。本年5月におこなわれたG7サミットを引き合いにだされ、各国の国益が複雑に絡み合うグローバルな世界での日本の立ち位置と

定例会を傍聴しませんか 第3回定例会（会期9月13日～15日）



これからの考えさせられた貴重な講演だった。

戦争は、始めるよりも終わらせることの方がずっと難しい。



第二部は、『日本政治の舞台裏』と題し、政治ジャーナリストの田崎史郎氏の講演を頂いた。

43年余に及ぶ政治取材によって培われた主要な政治家との信頼関係と、一寸先は闇の政治の世界で先を読む洞察力に裏打ちされた、よどみない約90分間のお話し。飽きさせずに聞かせる話術に引き込まれっぱなしの講演だった。安倍元首相と岸田総理との違いについて、溜飲が下がる思いで受け給った。講演の最後に、今後の政局について氏の見解を伺った。

あくまで、現段階において、ご自身の経験と様々な人脈からの情報とを勘案して導き出されたものであって、絶対ではない。とのエクスキューズも忘れなかったところに、氏のゆるぎない自信を垣間見た気がした。(寺垣 信晃)

空知町村議会議員研修会

7月12日、栗山町カルチャープラザ「Eki」において空知町村議会議員研修会が開催され、議員7名、事務局2名、職員2名が参加。「議会のデジタル化からDX・高度化へ」と題して、早稲田大学マニフェスト研究所の長内紳悟氏の講演を聴講した。

世はまさにデジタル化の時代を迎えている。ICTスマホやタブレットが普及し双方向でのコミュニケーションが図られるようになり、チャットGPTなるものも出てきた。しかし、大量の情報の事実を整理し、最終的にそれを基に決めていくのは話し合いである。

次から次へと話題が展開し

2時間の講演も短く感じられた。(中村尚一)



北空知議会議長連絡協議会研修会

7月28日、北空知議会議長連絡協議会議員研修会がラカンパニーホテル深川において開催され、クラーク記念国際高校校長の吉田洋一氏から「地域における高校教育を巡る課題とクラーク」と題して、コロナ禍からの教育現場の変化と今後の展望、クラーク高校の具体例などお話をいただいた。

また、午前の部で一市四町対抗のパークゴルフ大会が深川の会場で行われ、午後からの研修会後に催された懇親会で、

今年の統一地方選挙後の新たな議員構成で親睦を深めた。

パークゴルフ大会団体戦結果は北竜町議会第3位。優勝は秩父別町議会だった。個人戦でも佐々木議長が準優勝と大健闘だった。(尾崎圭子)



活動報告

【8月】

1日：香川県まんのう町議会建設経済常任委員会視察
13日：空知町村議会議長連会中央要望
7日：北空知議会議長連絡協議会中央要望
12日：北竜太鼓30周年記念演奏会「三太鼓まつり」北

活動予定

【9月】

6日：議会運営委員会
11日：北竜町敬老会
13日：第3回北竜町定例会
未定：例月出納検査



まんのう町議会建設経済常任委員会視察

竜2023]

18日：北竜町戦没者追悼式、全員協議会、北竜盆踊り大会
20日：北商ロードレース大会
21日：例月出納検査(監査委員)
22日：決算審査(監査委員)
23日：厚沢部町総務文教常任委員会視察
29日：道内行政視察



緊急事態

7月23日、佐々木議長より美葉牛幹線破損との連絡があり、至急稲津久衆議院議員に連絡し現地を確認してほしいと要望した。

翌日午前10時にサンフラワーパークで待ち合わせをし、北海道開発建設部・北竜町と共に現地に向かうと、何と直径135cmのパイプが破損。水が噴き出しており、故障箇所の送水を中止し修繕の説明を受けた。

7月26日、地元建設業の水槽4トン車にて水の運搬を開始、翌日北海道開発局10トン車、合計23台にて用水路に水の供給開始、農業者の水不足解消に努め、同27日、議会議員で現地視察し状況を確認。出来るだけ早く復帰するよう要請した。

8月1日、稲津衆議院議員より美葉牛幹線補修にあたり国土交通省と協議し来春までに通水できる様、予算確保するとの連絡があり、北竜土地改良区をはじめ、関係する組合員は安堵した。(佐藤 稔)